



黒野農物流センターのJAぎふいちごパッキングセンター見学、  
いちご生産者さんと学習交流会を行いました！

5/8(木)  
エリア委員会  
メンバーで

岐阜県のオリジナル品種は？

「濃姫」「美濃娘」「華かがり」の  
3品種です。主に  
冬春いちごとして  
11月～5月に出荷  
されています。



JAぎふいちごパッキングセンターってどんなところ？



生産者の面積の規模拡大や  
人手不足でパック詰め作業が難しい方を  
中心に利用されています。  
栽培面に集中することで

収穫量UPにつながる重要な設施と  
なっています。いちごに合わせた  
パック詰めが行われています。



生産者の西垣さんのハウスを訪問しました



生産者の西垣さん  
「我が家のように  
いちごは可愛いです」

約2000m<sup>2</sup>のハウスで立た姿勢で作業が出来る「高設ベンチ栽培」を採用し、コンピュータ制御で水や肥料を与えています。



ハウス内のCO<sub>2</sub>や空調管理も行いながら、約12,000株を育てています。  
しゃいま。苗作りや農薬を極力使用しない為の工夫も  
教えていただきました。朝7時から一粒一粒丁寧に



← ハチの巣箱  
今は「マリハバチ」による受粉が  
行われています。

収穫したいちごをパッキングセンターへ搬入。  
その後は葉や茎の管理作業の時間。  
「半年は出荷」「半年は苗作り」と日々いちごに合わせた生活をされています。



安心・安全で美味しいいちごが店舗に並ぶのは、生産者さんや流通に関わる多くの方のおかげだと再認識出来ました。  
貴重な機会をありがとうございました。  
これからも岐阜のいちごを購入し、応援していきたいと思います。

エリア委員募集中！  
一绪に楽しく活動してくださる  
仲間を随时  
募集中です！

